道徳科学習指導案

日時 令和…年…月…日(…)

特別の教科 道徳学習指導案又は道徳科学習指導案と表記するとよい。

…校時…:…～…:…

学校名 ………立…………学校

使用するフォントとサイズは、

タイトル、項目 MSゴシック体10.5ポイント

本文 MS明朝体10.5ポイントを使用する。

数字については、１桁は全角、２桁以上は半角で表示する。

対象 第…学年…組 …名

会場 …階 …………教室

授業者 …職 名… ……氏 名……

１ 主題名 ……………………… 内容項目

|  |
| --- |
| ・　年間指導計画における主題名と内容項目を示す。  ・　ねらいと教材で構成した主題を、授業の内容が概観できるように端的に表す。 |

２ ねらいと教材

(1) ねらい

|  |
| --- |
| ・　年間指導計画に基づいてねらいを記述する。  ・　指導の内容や授業者の指導の意図を明らかにする。  ・　ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相(「道徳的判断力」「道徳的心情」「道徳的実践意欲と態度」)を踏まえて記述する。 |

(2) 教材 ………………………(教科書、副教材等の名称、出版社名等)

３ 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

|  |
| --- |
| ・　ねらいとする道徳的価値の学習指導要領における位置付けについて、学習指導要領の該当する箇所を引用して示す。  ・　年間指導計画における主題構成の背景などを確認し、ねらいや指導内容についての授業者の捉え方を記述する。  ・　道徳的価値の理解に基づいて、自己を見つめるための根源的なものをどのように押さえたかについて記述するとよい。  ・　必要に応じて重点を置く指導事項や指導の系統的・段階的内容、カリキュラム・マネジメントの視点に基づく教科等間の関連(教科等横断的な視点)等を記述する。 |

(2) 児童・生徒観

|  |
| --- |
| ・　主題に関わる道徳教育の状況や、それに伴う児童・生徒の実態等について記述する。  ・　主題に関する児童・生徒の実態や課題等と、それに対応するための指導上の配慮や工夫を記述する。  ・　児童・生徒の肯定的な面やそれをさらに伸ばしていこうとする観点から積極的な捉え方を心掛けるとよい。 |

(3) 教材観

|  |
| --- |
| ・　使用する教材を分析し、その特質を整理して示すとよい。  ・　児童・生徒の学習場面の予想や発達の段階、指導の流れを踏まえて、教材を生かす具体的な活用方法を記述する。  ・　授業で取り扱う教材・教具、資料、地域の人材、学習環境等について、どのように活用するのかを具体的に記述する。 |

４ 年間指導計画における位置付け

|  |
| --- |
| ・　関連する内容項目の取り扱いについて、授業実施月、主題名、内容項目、ねらい、教材名等を示すとよい。  ・　複数時間の関連を図った指導の工夫がある場合には、その関連について記述するとよい。  ・　道徳教育全体計画及び別様を踏まえて、教科等間の関係を記述するとよい。 |

５ 指導に当たって

|  |
| --- |
| ・　授業力の６要素(「使命感、熱意、感性」、「児童・生徒理解」、「統率力」、「指導技術(授業展開)」、「教材解釈、教材開発」、「『指導と評価の計画』の作成・改善」)や「主体的・対話的で深い学び」等の視点に基づき、授業形態や指導方法等についての考え方及び工夫・改善したこと等を記述する。 |

６ 学習指導過程

(1) 展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 主な学習活動 ○ 主な発問  ・ 予想される児童・生徒の反応 | ・ 指導上の留意点等  ◎ 評価の視点(評価方法) |
| 導入  …分 | ＊　児童・生徒と既習事項等を確認し、本時の目標を把握させるようにする。  ＊　児童・生徒が学習の進め方を知り、学習の見通しをもてるようにする。  ＊　本時の主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味や関心をもたせたりして、主題に関する児童・生徒の興味関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図るようにする。 | ＊　文字や画像、具体物等を用いて本時の目標を明示し、児童・生徒が理解できるようにする。  ＊　児童・生徒が課題意識をもてるよう、内容や提示方法等を工夫する。  ＊　児童・生徒がどのような問題意識をもって学習に臨んでいるのかを把握するとよい。 |
| 展開  …分 | ＊　学習活動の流れ、学習する内容が明確になるように記述する。  ＊　授業者の主な発問や予想される児童・生徒の反応等を端的に記述するとよい。  ＊　中心的な教材によって児童・生徒一人一人がねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめるように、児童・生徒の実態と教材の特質を押さえた発問等をしながら進めていくようにする。  ＊　ねらいとする道徳的価値を理解し、自己を見つめ、多様な感じ方や考え方によって学び合うことができるような展開を構想するとよい。  ＊　本時の学習について振り返る時間を設定する。  <学習内容の記述例>  １　自分自身の生活を振り返り、課題意識をもつ。  ２　教材「○○○」を読んで話し合う。  ３　自分自身の経験を振り返って、話し合う。  ４　教師の説話を聞く。  <○　主な発問の記述例>  ○　□□□を始めた◇◇◇◇は、どのようなことを考えていたのでしょうか。  ○　▲▲と言った◎◎はどのような気持ちでいたと思いますか。  <・　予想される児童・生徒の反応の記述例>  ・　○○だから、□□と考える。  ・　○○だから、△△と考える。  ・　■■■だと思った。 | ＊　本時の目標を達成するための指導内容、児童・生徒が課題を解決するための指導の工夫等について具体的に記述する。  ＊　児童・生徒の学習状況に応じた個別の指導、支援等について具体的に記述する。  ＊　学習内容や児童・生徒の実態に応じて、安全、衛生、健康等についての配慮や個別の対応について記述する。  ＊　必要に応じて、タブレットＰＣ等のＩＣＴの活用について記述するとよい。  ＊　複数の教員が指導に関わる授業では、各教員の役割を明確に記述する。  ＊　道徳的価値に対する児童・生徒一人一人の感じ方や考え方を生かしたり、物事を多面的・多角的に考えたり、児童・生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己をみつめるなどの学習が深まるように工夫したこと等を記述するとよい。  ＊　評価については、「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか」、「道徳的価値の理解を自分自身の関わりの中で深めているか」といった点を重視する。  ＊　振り返りを通して、本時の目標に対しての実現状況等を確認する。  <・ 指導上の留意点の記述例>  ・　○○について考えられるように、□□を整理して示す。  ・　●●の方法で、△△の視点から話し合うよう助言する。  <◎ 評価の視点の記述例>  ◎　登場人物の心情を共感的に捉え、自分なりに考えをもち、深めているか。(発言分析)  ◎　○○について多面的、多角的に考えているか。(ワークシート分析) |
| 終末  …分 | ＊　ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを認識したりして、今後の発展につなげるようにする。 | ＊　学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心に留めたり、これからへの思いや課題について考えたりする学習活動を設定するとよい。 |

(2) 評価

|  |
| --- |
| ・ 学習指導過程に示した導入から終末までの学習活動を通した学習状況の評価を記入するとよい。 |

(3) 板書計画

|  |
| --- |
| ・ １単位時間の学習の流れが分かるように、板書する内容を整理して具体的に記述する(主題名、ねらい、提示する資料、予想される児童・生徒の発言、まとめ等)。  ・ ＩＣＴを用いた提示等については、その内容や方法等を具体的に示す。 |

(4) 授業観察の視点

|  |
| --- |
| ・ 授業改善に向けて、重点的に観察してほしい点や協議してほしい点を具体的に記述する。  ・ [７ 指導に当たって]の内容や本時の目標、展開、時間配分、児童・生徒の学習活動の内容、教材・教具、発問・指示、評価場面や評価方法等を着眼点として具体的に記述するとよい。  〈記述例〉  ・ ○○を示したことにより、児童・生徒は▲▲について多面的・多角的に話し合うことができたか。  ・ 児童・生徒の考えを多面的・多角的に発展させるために有効な発問の構成であったか。 |